



## 蒲原勝美さん(電気s38年卒)「第51回等迦展」に出展

蒲原勝美さん(電気38年卒)が所属する美術団体「等迦会」は2月6日～18日まで、国立新美術館で「第51回等迦展」が開催されました。蒲原さんは会の事務局長として、精力的に頑張っています。この日も忙しい中、対応してくれました。

私たちは8日に、蒲原さんが勤務していた会社の大先輩・橋本さん(北海道出身)、坂本さん(前会長)、取引先で北海道の先輩・田中井さん(北海道ふるさと連合会理事)、吉田副会長、駒米の5人で作品を鑑賞してきました。

「等迦会」は全国から作品を公募し、文部科学大臣、東京都知事、毎日新聞はじめ多くの団体や個人から賞を戴く、日本の美術会でも権威ある美術集団です。

等迦会は大正15年に東京芸術大学西洋画科卒のグループ展として旗揚げし、昭和40年に再興された歴史ある会です。全国に10の支部があり、支部活動も盛んに行われています。

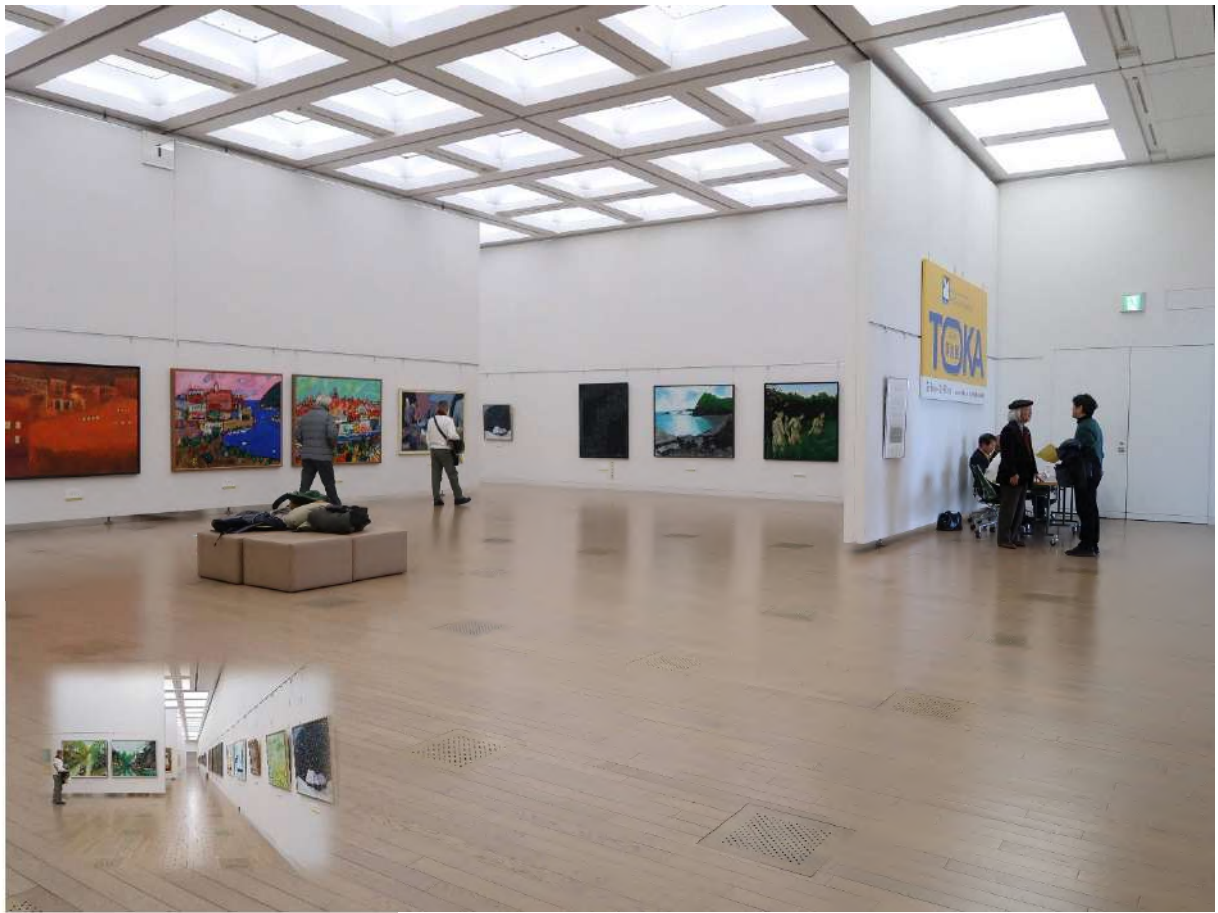
蒲原さんの毎回テーマとしている“海”を描いた「光る海」です。坂本先輩によると今年は凄く明るくなっており、画風が変わったかなと冷やかしていました。絵の中央部に灯台が赤で描かれており、画に大きなインパクトを持たせていました。

70歳を超えても会の運営に力を注ぎ、作品を発表されている蒲原さんのご活躍を祈念しています。

(駒米隆記)



作品「光る海」をバックに蒲原画伯



会場風景



左から 田中井さん・駒米・蒲原画伯・橋本さん・坂本前会長・吉田